

番号	句	住所・氏名
25	三味線のハチを持つ手がしげれるな	三田市武庫が丘六 岸本 真知子
24	紅葉ふみ野懸湖有に輝一献	三田市あかしあ合一 小田 康弘
23	薄ち葉ふみ心はおどる山の金	丹波篠山市今田町 松本 穂子
22	秋深し紅葉を訪ねて幻住庵	三田市つじが丘二 佐藤 敬明
21	種の木に降る鳥声と竹の突	大阪市平野区加美南 藤田 剛代
20	山頂へ紅葉の絨毯足軽く	大津市園分一 藤堂 隆司
19	プロア一で紅葉集めてハート文字	三田市園分一 藤堂 隆司
18	夕暮れの灯寂しや幻住庵	三田市すずかけ台三 荒木 節夫
17	やまあるきあかいもみじがうれしいな	三田市すずかけ台三 荒木 節夫
16	幻か芭蕉の青や歌り紅葉	三田市あかしあ合四 藤田 精一郎
15	山仲間集ふ紅葉の幻住庵	三田市あかしあ合四 藤田 精一郎
14	盛り涙汗さめしかな音羽山	三田市つじが丘南 伊富 公郎
13	晩秋の吹く風やさし幻住庵	三田市つじが丘北 森 まりこ
12	紅葉を見にひとやまこえて幻住庵	三田市すずかけ台二 久加 淳子
11	山登り紅葉の中足すずむ	三田市すずかけ台二 久加 淳子
10	涼風よ園境縁のなき空よ	大津市別保二 田中 文子
9	父の墓の一日ゆるゆか冬日影	大津市別保二 田中 文子
8	開かぬ側の草茎は波の柱置原	大津市別保二 田中 文子
7	降る触るる瀧るる見上ぐる大花	大津市別保二 田中 文子
6	街灯は大正の色冬の夜	大津市別保二 田中 文子
5	返り花明かりが灯りまたひとつ	大津市別保二 田中 文子
4	繭虫の音という音なかりけり	大津市別保二 田中 文子
3	小春の日散歩に舞う運命輪	大津市別保二 田中 文子
2	大寒や太き万年筆で文	大津市別保二 田中 文子
1	夕陽や夜露降りる包みけり	大津市別保二 田中 文子

番号	句	住所・氏名
50	きばる犬かまえる母やかぜの音	三田市武庫が丘六 岸本 真知子
49	一たす一三たす三はかんたんだ	三田市あかしあ合一 小田 康弘
48	初詣式部は曹寺も静れる人	丹波篠山市今田町 松本 穂子
47	足元にしたしたと降る雨の音	三田市つじが丘二 佐藤 敬明
46	冬の旅業式部の石山寺	大阪市平野区加美南 藤田 剛代
45	繭虫や石山寺の小滝聴ね	大津市園分一 藤堂 隆司
44	京の冬業式部に食ふ小旅	大津市園分一 藤堂 隆司
43	繭虫や石山寺の嵐け藤	三田市すずかけ台三 荒木 節夫
42	落葉踏む音羽の山にせみの声	三田市すずかけ台三 荒木 節夫
41	園分山揺れるコスモス父母の顔	尾張旭市印場元町 櫻田 満里子
40	秋深し雪真の夫と幻住庵	尾張旭市印場元町 櫻田 満里子
39	美に見つ比較にかかる冬の虹	西宮市前浜町二 藤元 愛
38	山頂の繭秋の空ドローン飛ぶ	三田市あかしあ合五 細田 秀子
37	紅葉を見にひと山越え幻住庵	三田市つじが丘北 岡田 優
36	晩秋の吹く風やさし幻住庵	三田市つじが丘北 岡田 優
35	遠足の團児見下ろし夕力渡る	三田市つじが丘北 岡田 優
34	幻住庵集り返る運命輪紅葉	大津市別保二 田中 文子
33	繭神寺を知らぬ存ぜぬ木曾の秋	大津市別保二 田中 文子
32	のぼり来て幻住庵の薄紅葉	大津市別保二 田中 文子
31	兼出波黄色繭子の繭揺れる	大津市別保二 田中 文子
30	初時雨幻住庵の繭を踏む	大津市別保二 田中 文子
29	前時雨幻住庵の繭を踏む	大津市別保二 田中 文子
28	行き暮れて半の一文宇星流る	大津市別保二 田中 文子
27	初時雨繭丸を踏む幻住庵	大津市別保二 田中 文子
26	黄瀬子の子ら鈴鳴らし簾さんへ	大津市別保二 田中 文子